

# 岡山市の財政状況

水と緑が魅せる心豊かな  
庭園都市おかやまをめざして

2012年10月26日 合同IR 説明会資料



# 目次

i	岡山市のすがた	・・・2	iv	めざす都市像	・・・19
■	岡山市の概要		■	都市ビジョン『新・岡山市総合計画』	
■	都市機能		■	平成24年度一般会計当初予算	
■	生活環境		■	主要な施策	
■	将来推計人口				
ii	行財政改革	・・・8	v	市債発行の方針	・・・27
■	行財政改革の目標		■	今後の起債運営	
■	これまでの行財政改革		■	市場公募地方債の発行	
iii	財政状況	・・・11			
■	平成23年度普通会計決算				
■	職員数の削減と適正化				
■	市全体の借金				
■	財政指標の推移				
■	健全化判断比率等は基準をクリア				

# i 岡山市のすがた

- 岡山市の概要
- 都市機能
- 生活環境
- 将来推計人口



# 岡山市の概要

## ■ 人口

703,280人 (H24.8末現在)【住民基本台帳人口及び外国人登録人口】

## ■ 面積

789.92km<sup>2</sup>

## ■ 自然

旭川と吉井川が瀬戸内海に注ぐ岡山平野の中央に位置  
南部は地味豊かな沃野、北部は吉備高原につながる山並み

## ■ 気候

温暖な瀬戸内海特有の風土  
快晴の日が多く、台風や雪の影響が少ない

## ■ 名産

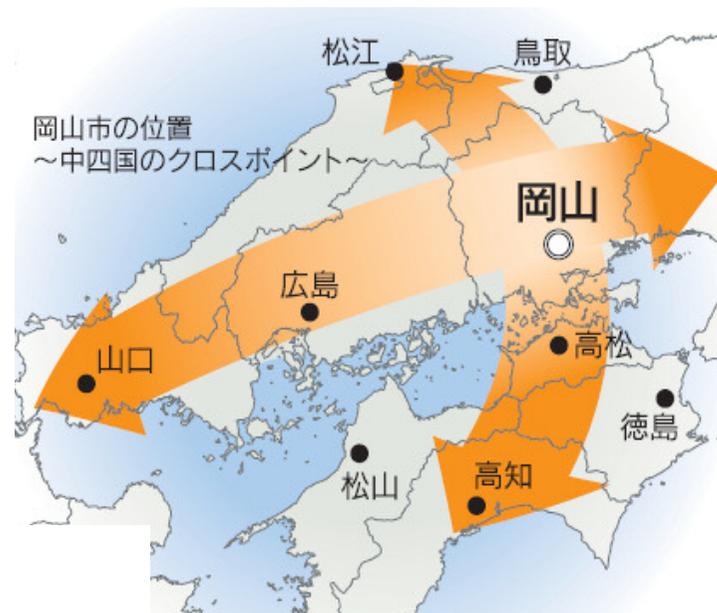
「果物王国」岡山市は、マスカット・白桃などの果物が揃い、南部の瀬戸内海では鯖やママカリなどの海の幸が育まれます



# 都市機能①

## 中国・四国・近畿を結ぶ交通結節点 — 充実した広域高速交通網 —

- 高速道路網  
山陽自動車道、中国横断自動車道(岡山米子線)、瀬戸中央自動車道
- 鉄道網  
JR岡山駅は新幹線を含む8路線が乗り入れ、中四国地方の全ての県都に直通
- 空港  
国際3路線、国内3路線の岡山空港
  - ・東京国際空港などの拠点空港に次ぐ地方管理空港としては、最長クラスの3,000m滑走路。
  - ・市内中心部から約25分の距離に位置。



## 都市機能②

### 医療・福祉、学術・研究の分野で高い都市機能の集積

- 医師数 第3位 (人口10万人あたり)
- 大学生数 第5位 (人口10万人あたり)

市内には医療・理工系大学の高等教育研究機関が多く存在し、国内でもトップレベルの優れた研究が行われています。また、そこでは海外からの留学生なども含め、国際色豊かな優れた人材が育っています。



### 安定した地理的条件を生かした新たな企業立地

- ・台風や雪など風水害による被害も少ない
- ・高速道路や空港等、多数のアクセスルートがあり物流面の利便性が優れている
- ・福祉・教育機関等も充実しており住み心地も良い

# 生活環境

## 地域ボランティアの活動が活発

- 民生委員 1, 178名
- 愛育委員 5, 453名
- おやこクラブ 4, 365名

※平成23年度 『岡山市の統計』、『保健衛生年報 平成24年度』より

- 岡山県は民生委員・愛育委員の発祥の地
- 「こんにちは赤ちゃん事業」などで地域ボランティアが積極的に子育て支援を行っていたり、各種研修会・交流会なども実施

## 住みやすい生活環境

政令指定都市で  
比較して

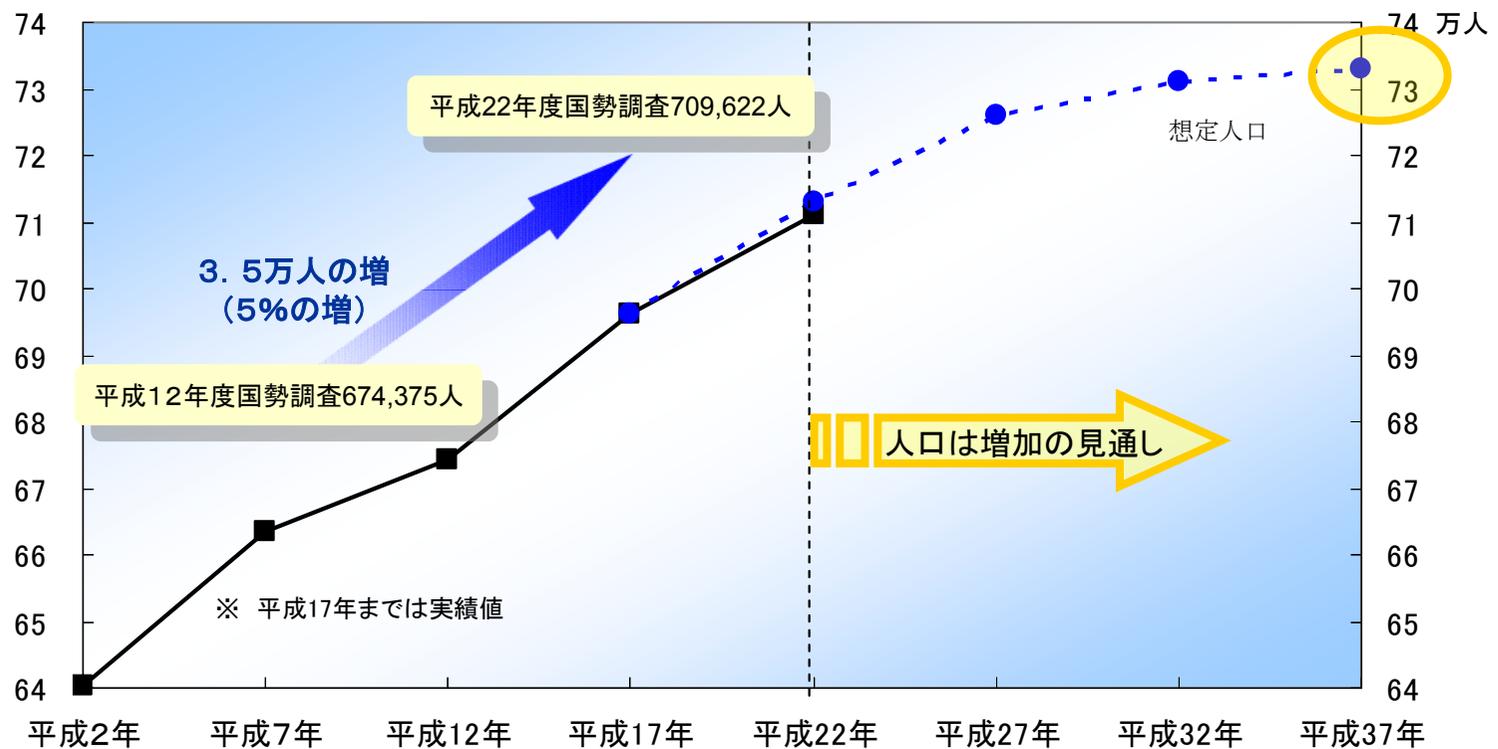
- 保育所数 第4位 (人口10万人あたり)
- 文化施設数 第3位 (人口10万人あたり)
- 都市公園面積 第2位 (都市計画区域人口1人あたり)
- 家賃(民営借家)の安さ 第4位
- 平均通勤時間の短さ 第5位
- 百貨店・総合スーパー数 第3位 (人口10万人あたり)

※経済産業省「商業統計調査」などによる



# 将来推計人口

- 平成37年には73万人の見通し
- 平成12年から平成22年までの10年間で3.5万人の増



\* 想定人口は、コーホート要因法を用いて算出した推計人口に都市型サービス産業の一層の集積による社会増などを見込み算出したもの

## ii 行財政改革

- 行財政改革の目標
- これまでの行財政改革



# 行財政改革の目標

## ■ 平成27年度までに財政的・人事的指標を目標水準へ

H17当時、借金総額約7千億円

危機意識から、**行財政改革の断行**に着手!!

### 長期計画編(H17~28)の目標

短期計画編(H17~20)で改革実施済

**新・短期計画編(H21~26)の改革実施中**

年 度	H17決算	H22目標値 (決算)	H27目標値 (決算)
経常収支比率	94.1%	-	政令指定都市 上位程度
実質公債費比率	21.2%	16%程度	12%程度
人件費比率	20.6%	18%台	17%台

- H27.4月までの定員管理の目標
- 事業の選択と集中による市債借入額の抑制
- 市民事業仕分けによる改革事項
- 庁内事業仕分けによる取組等

**財政効果額の目標は約170億円**

行財政改革を引き続き推進し、ムダのない効率的な行政を実現

# これまでの行財政改革

- H19年度から3年間の職員採用凍結を断行
- 『行政サービス棚卸し』を実施し、全ての事務事業の必要性を見直し
- 行財政改革にかかる財政効果額 約333億円

## 短期計画編の取組による財政効果

区分	期間	財政効果額
目標	H17~H21	約200億円
実績	H17~H20	約245億円

事務事業の見直し	29億円
民間活力の積極的活用	8億円
定員及び人事管理の適正化	56億円
給与・手当等の適正化	9億円
経費節減等の財政効果	36億円
市税徴収率の向上	20億円
投資的経費の縮減	87億円

財政効果額を1年前倒しで達成

## 新・短期計画編の取組による財政効果

区分	期間	財政効果額
目標	H21~H26	約170億円
実績	H21~H23	約88億円

事務事業の見直し	31億円
民間活力の積極的活用	3億円
定員及び人事管理の適正化	14億円
給与・手当等の適正化	16億円
経費節減等の財政効果	24億円

取組内容の見直し等を行い、  
改革事項の深化を図る

## iii 財政状況

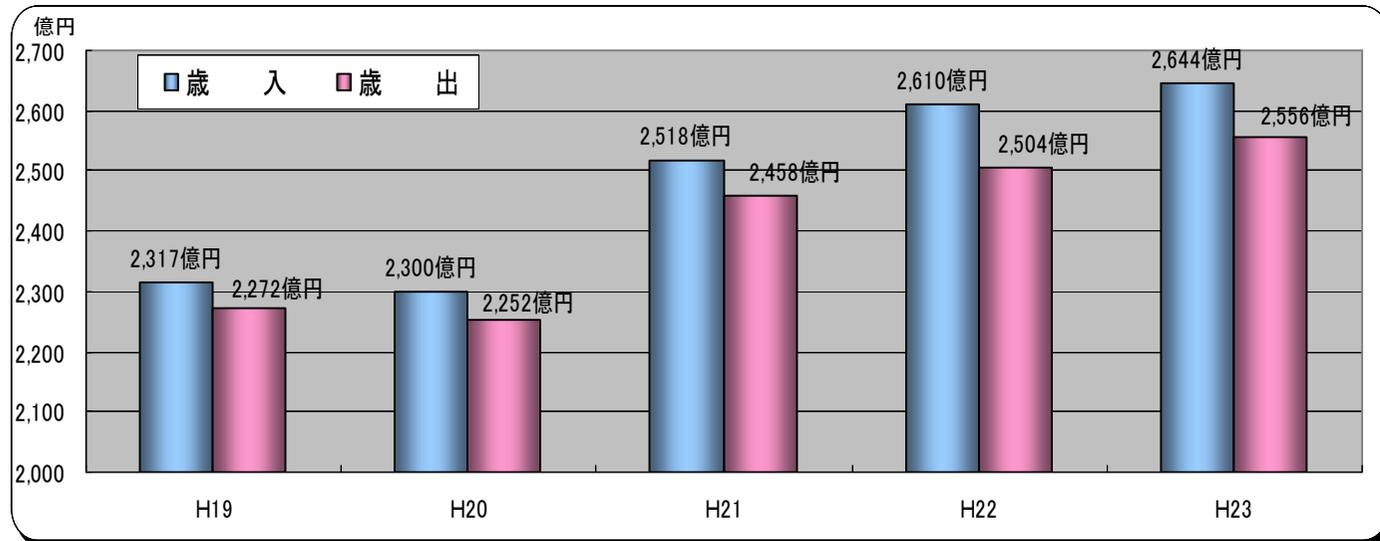
- 平成23年度普通会計決算
- 職員数の削減と適正化
- 市全体の借金
- 財政指標の推移
- 健全化判断比率等は基準をクリア



# 平成23年度普通会計決算

■ H21年度の政令市移行により、決算規模が増加

歳入歳出決算の推移

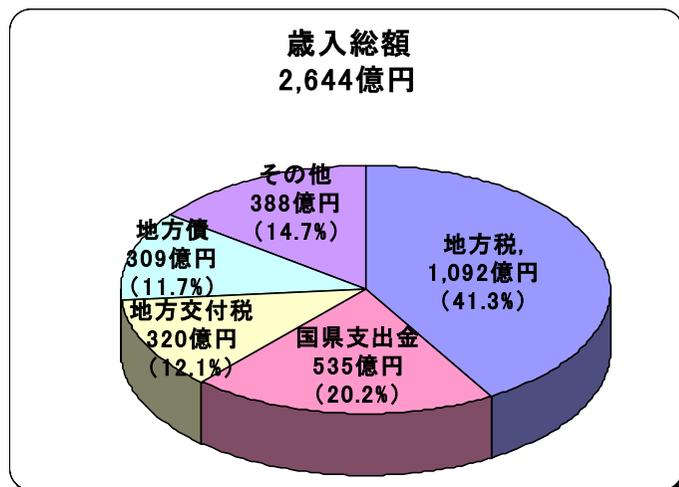


(単位: 百万円)

	H19	H20	H21	H22	H23
歳入	231,664	229,990	251,846	261,039	264,434
歳出	227,238	225,169	245,769	250,364	255,594
形式的収支	4,426	4,821	6,077	10,675	8,840
実質収支	3,441	4,165	4,279	9,082	6,972

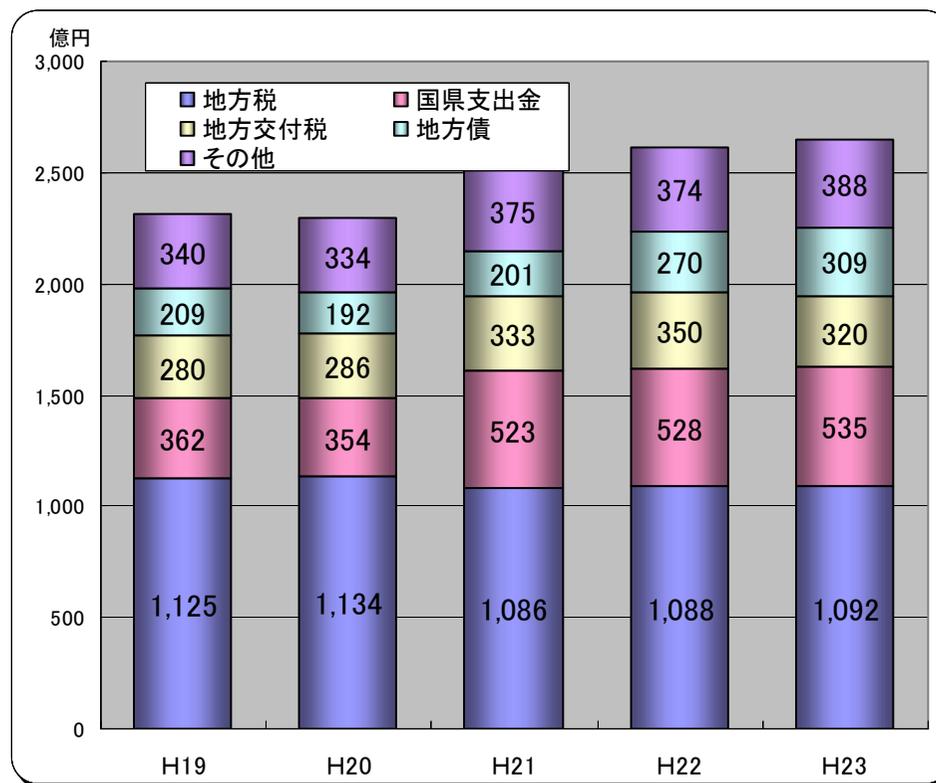
# 平成23年度普通会計決算(歳入)

■ 地方税収入は1,092億円となり、自主財源比率は49.1%



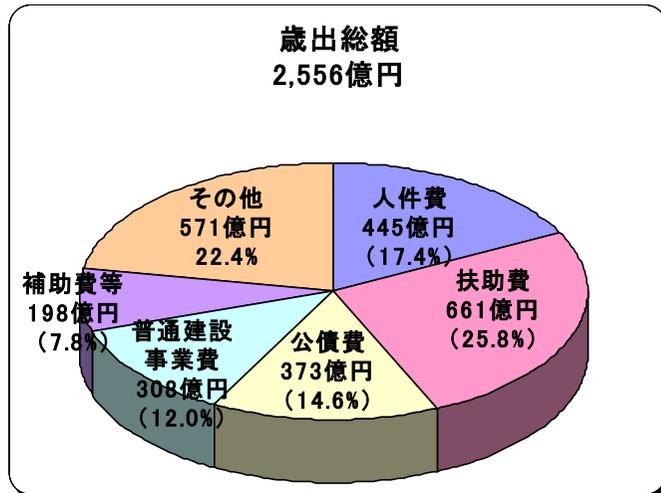
- 地方税は、前年度比0.3%の増（市たばこ税の増などによる）
- 地方交付税は、算定方式の変更に伴い普通交付税から臨時財政対策債への振替額が増加したことなどにより8.6%の減
- 国県支出金は、生活保護費、子ども手当の増加などにより1.3%の増
- 地方債は、臨時財政対策債の増などにより、14.4%の増

## 歳入内訳の推移



# 平成23年度普通会計決算(歳出)

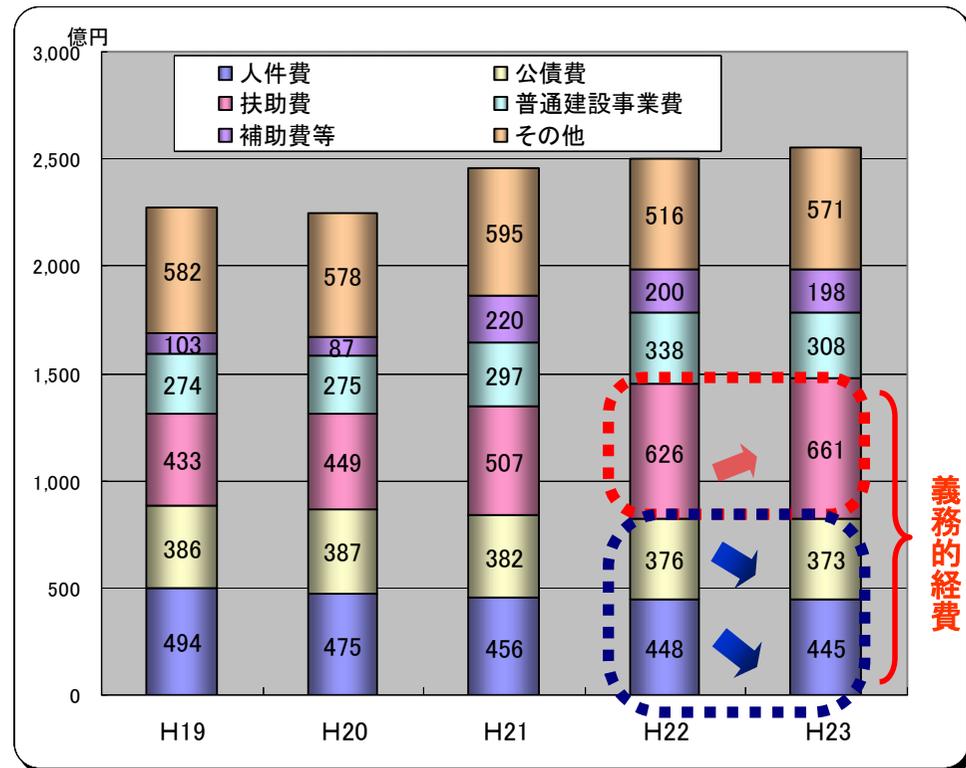
■ 人件費、扶助費、公債費の義務的経費が全体の57.8%を占める



## 義務的経費のうち

- 扶助費は、子ども手当や生活保護費等の増により前年度比5.6%の増
- 人件費および公債費は、行財政改革などの効果により、それぞれ0.6%、1.0%の減

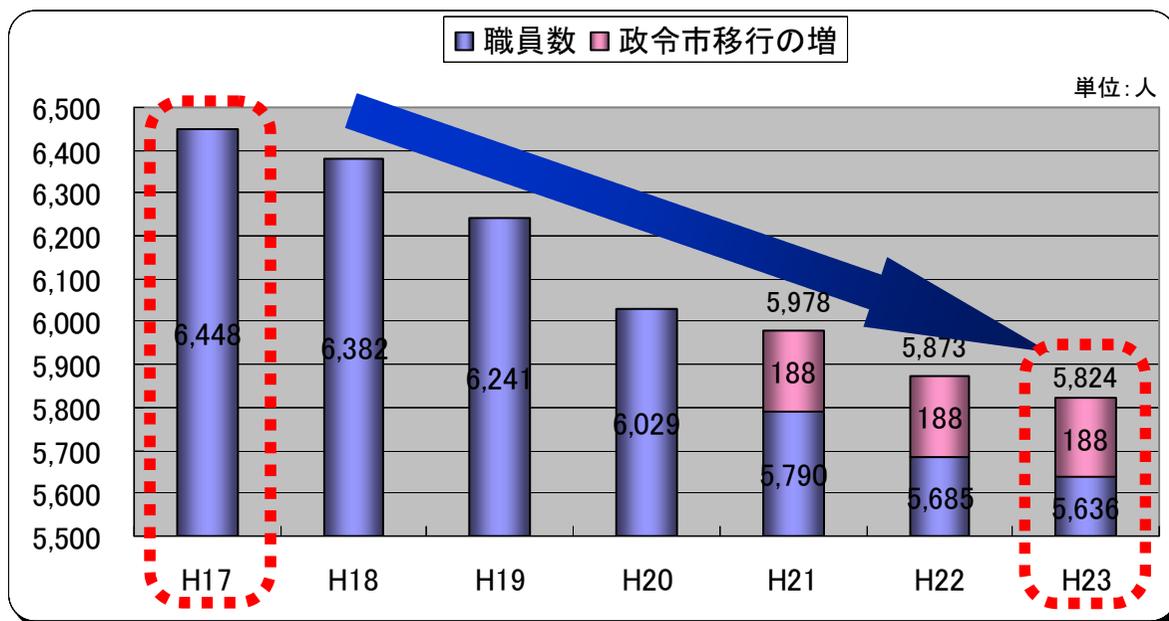
## 歳出性質別内訳の推移



# 職員数の削減と適正化

- 職員採用凍結などにより職員数を削減し、人件費総額を抑制

## 職員数の推移



※職員数は各年度4月1日付の人数

- 職員数の適正化についてH17に策定した集中改革プランでH22.4までに10%削減を目標し、達成

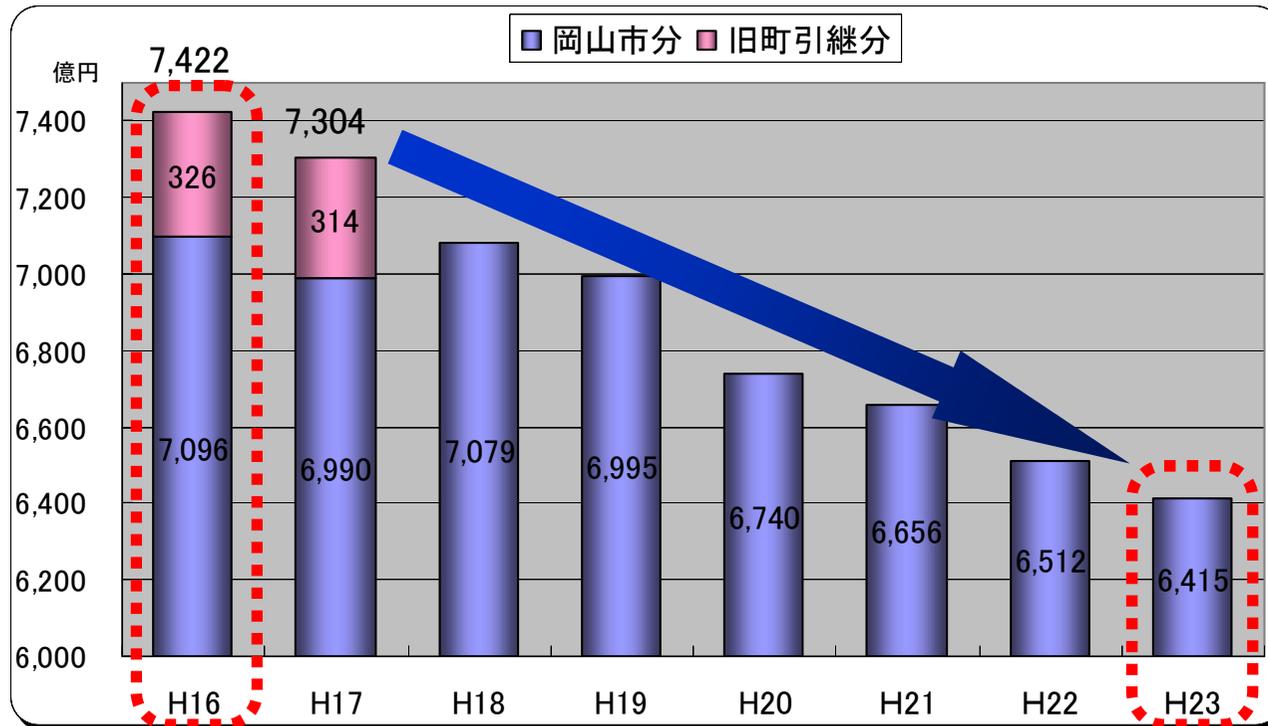
- 政令指定都市移行による権限委譲の換算分188人を除くと**812人** (**12.6%**)の削減

- 今後とも、人事配置の一層の見直しによる効果的・効率的な配置の推進に取り組めます

# 市全体の借金

- 合併により増加した市全体の借金は行財政改革により大幅減

## 市債残高及び債務負担行為額の推移



- 借入額の抑制(全額が交付税算入される市債を除き200億円を目標)

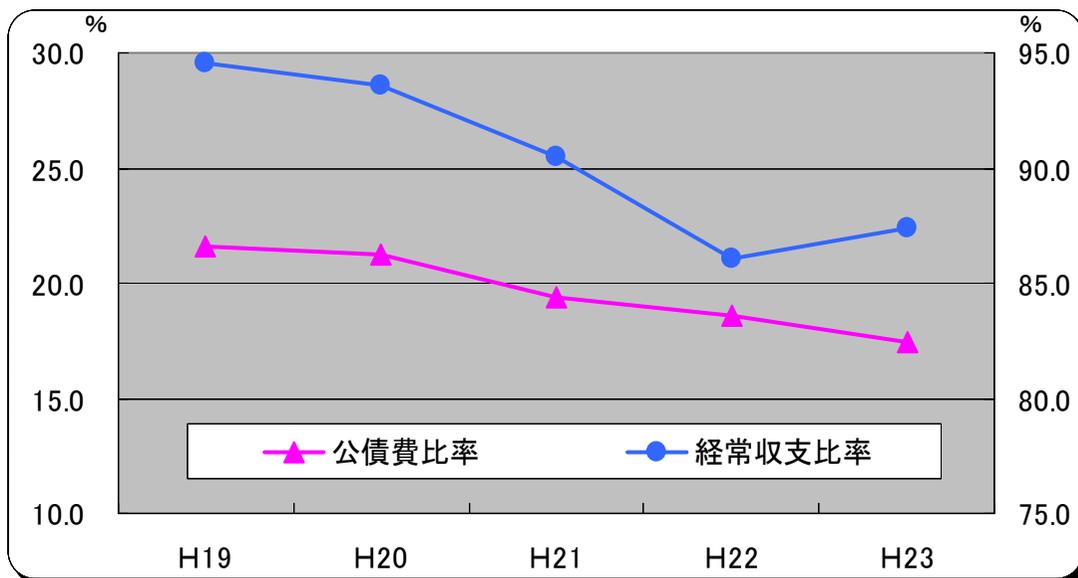
- 土地改良事業の債務負担行為の削減

- 旧岡山市と合併4町から引継いだ借金総額で見ると7年間で**1,007億円**の減少

# 財政指標の推移

■ 経常収支比率はH17から6.7ポイント改善し87.4%、政令市トップクラス

## 各種財政指標の推移



(単位: %)

	H19	H20	H21	H22	H23
公債費比率	21.6	21.2	19.4	18.6	17.4
経常収支比率	94.6	93.6	90.5	86.1	87.4

### 【経常収支比率は悪化】

・平成23年度は87.4% (平成22年度86.1%)となり、1.3ポイント悪化。  
(参考)

平成17年度は94.1%

### 【公債費比率は改善】

・平成23年度は17.4% (平成22年度18.6%)となり、1.2ポイント改善。

### 行財政改革大綱の目標

#### 【経常収支比率】

H27決算 政令指定都市上位程度

(H22決算 政令指定都市 1位)

# 健全化判断比率等は基準をクリア

- 前年度に引き続き、  
実質赤字額、連結実質赤字額はなし
- 実質公債費比率は、  
18.0%未満であり協議団体
- 将来負担比率は、市の借金の減など  
により前年度比22.2ポイント改善

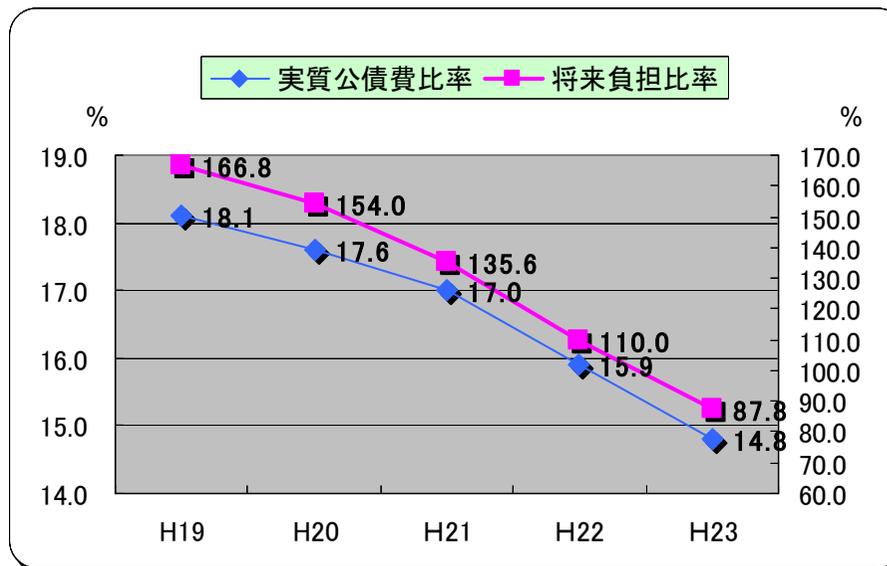
実質公債費比率は、  
行財政改革大綱目標(H27決  
算12%程度)に向け、改善



【平成23年度決算に基づく岡山市の健全化判断比率と資金不足比率】

指 標		岡山市の 比率	早期健全化 基準	財政再生 基準
健全化 判断 比率	① 実質赤字比率	—	11.25%	20%
	② 連結実質赤字比率	—	16.25%	35%
	③ 実質公債費比率	<b>14.8%</b>	25%	35%
	④ 将来負担比率	<b>87.8%</b>	400%	
⑤ 資金不足比率 (公営企業ごと)		—	(経営健全化基準) 20%	

※実質赤字額、連結実質赤字額がない場合は、「—」を記載しています。



## iv めざす都市像

- 都市ビジョン『新・岡山市総合計画』
- 平成24年度一般会計当初予算
- 主要な施策



# 都市ビジョン『新・岡山市総合計画』

- 都市の形 水と緑が魅せる心豊かな庭園都市
- 都市の使命 中四国をつなぐ総合福祉の拠点都市

## 都市の形

水と緑が魅せる  
心豊かな  
庭園都市



豊かな水と深い緑という岡山の持つ特性をいかし、そこに暮らす人々が美しく心輝いていく都市を創造していきます。

## 都市の使命

中四国をつなぐ  
総合福祉の  
拠点都市



高度な医療、先進的な福祉、伝統と厚みのある教育。これを総合化し、さらに力を高め、中四国、さらに西日本圏域の発展とそこに住む人々の幸せに貢献する都市を創造していきます。

7つの柱でめざす  
都市像を実現

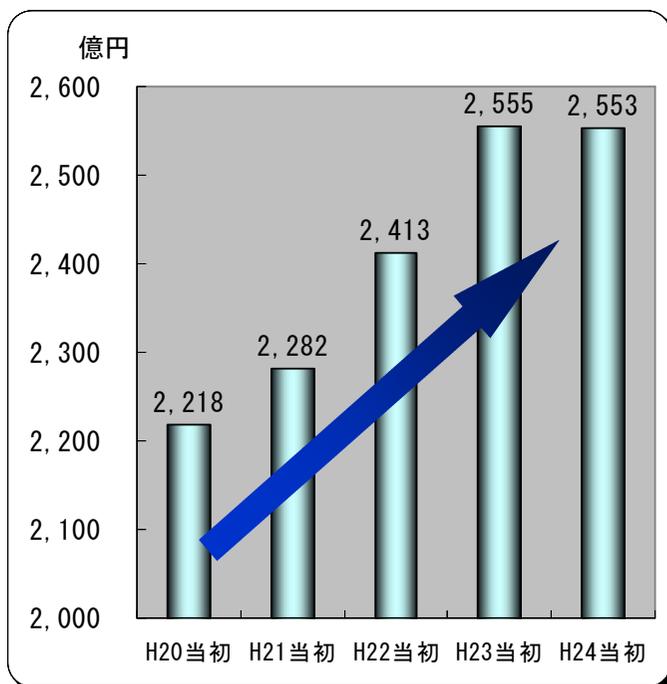
## ●都市づくりの基本方向●

- ① 多様で豊かな環境をいかす
- ② 街と田園のかたちを明確にする
- ③ 安心していきいきと暮らせる岡山型福祉を組み立てる
- ④ 自立し自己実現できる人間力を育てる
- ⑤ 市民力で新しい岡山をつくる
- ⑥ 岡山の強みをいかした産業を広げる
- ⑦ 文化力で岡山の誇りを高める

# 平成24年度一般会計当初予算

- 一般会計の当初予算額は2,553億円、前年度比で0.1%減。

## 当初予算規模の推移



## 予算編成の基本的な考え方

市政の運営に当たっては、行財政改革を推進し、強固な財政基盤を築きつつ、その財政効果も活用して、都市ビジョンに掲げる2つの都市像を具体化していくという方針に基づく。

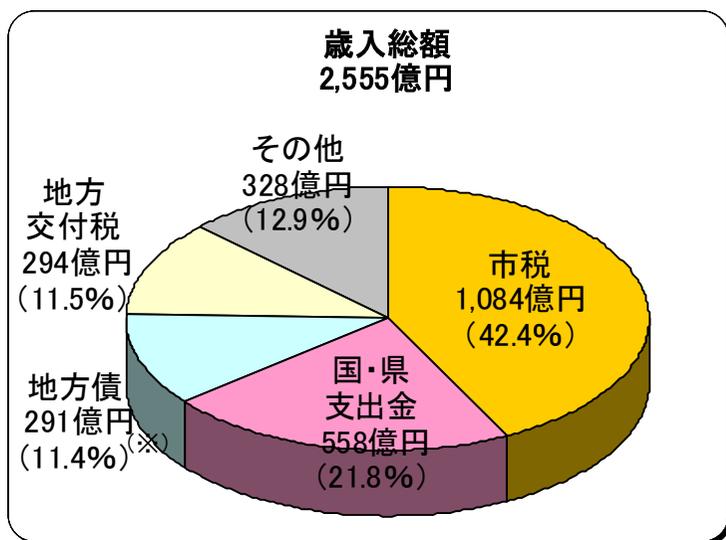
その上で、平成24年度当初予算案では、今後想定される東海、東南海、南海の三連動地震への対策として、市民の命を守るために、災害に強い安全・安心のまちづくりに積極的に対応。

この他、2014年度の「国連ESDの10年」最終年会合に向けて受入体制を強化するとともに、これを大きなチャンスととらえ、環境先進都市の取り組みをさらに進め、政令指定都市にふさわしい活力と賑わいの創出を図りたいという思いを込めている。

# 歳入予算の内訳

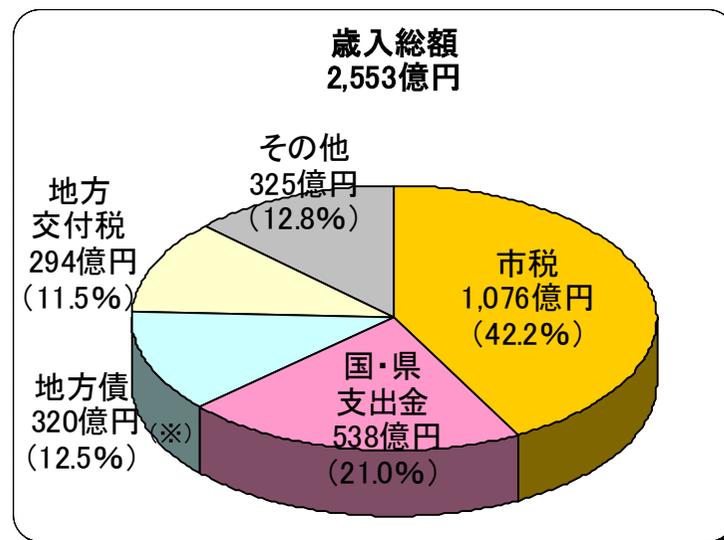
- 市税は、固定資産税の評価替えなどにより、対前年度比較で8億円(0.7%)の減
- 国・県支出金は、子ども手当等の減などにより、同20億円(3.6%)の減
- 臨時財政対策債を含む実質的な地方交付税は、同23億円(4.9%)の増

平成23年度当初予算



※うち臨時財政対策債は175億円

平成24年度当初予算

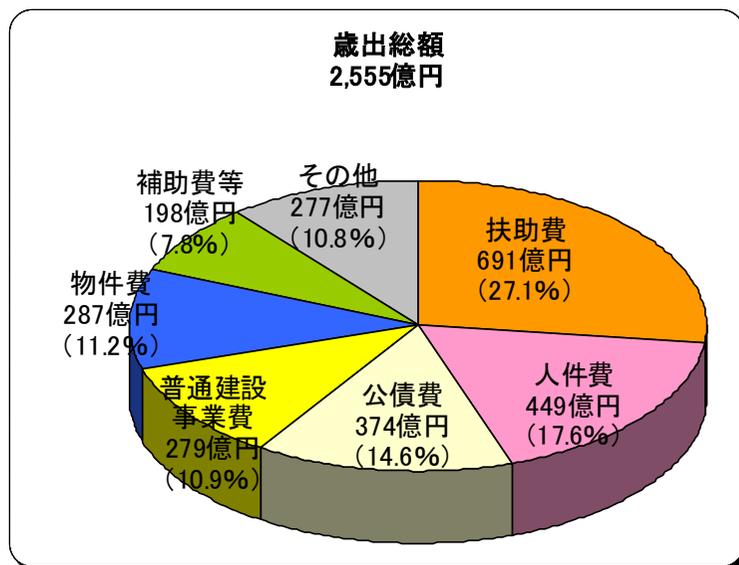


※うち臨時財政対策債198億円

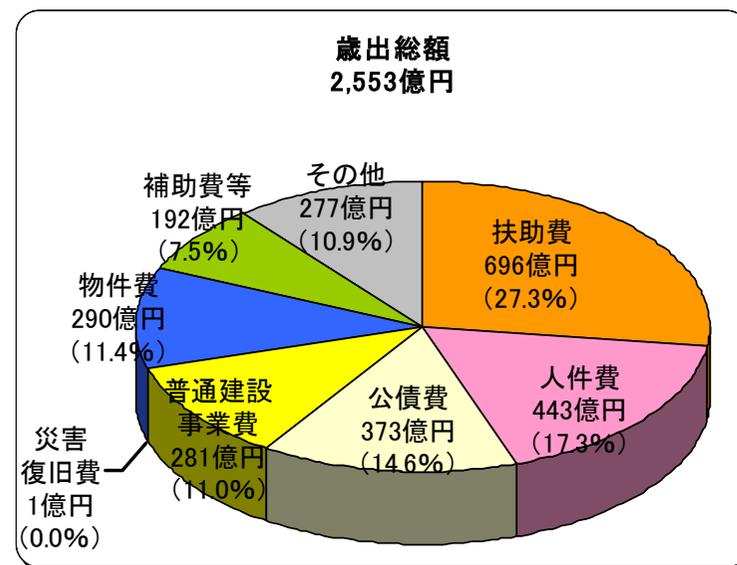
# 歳出予算〔性質別〕の内訳

- 人件費は、職員の減などにより、対前年度比較で6億円(1.4%)の減
- 扶助費は、生活保護費や介護給付費の増などにより、同5億円(0.6%)の増
- 物件費は、住民基本台帳法改正に伴うシステム改修経費の増などにより、同3億円(1.1%)の増

平成23年度当初予算



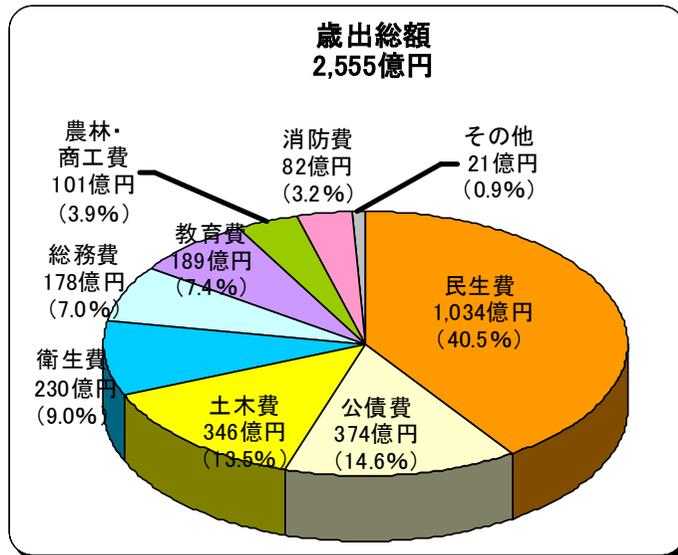
平成24年度当初予算



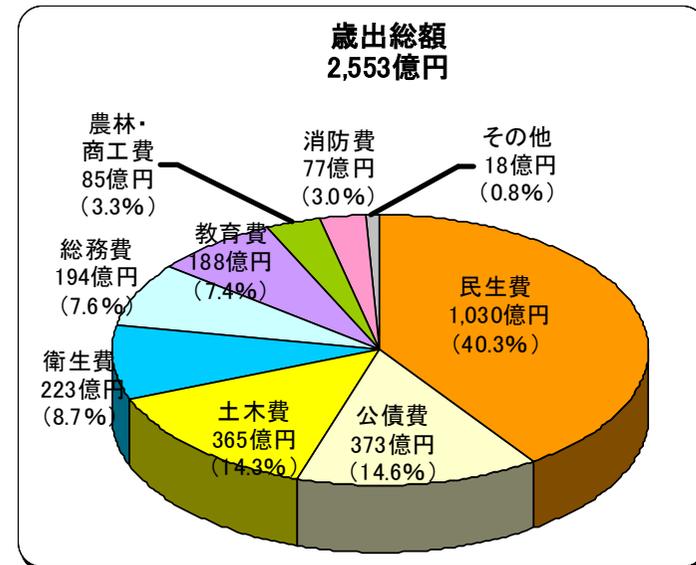
# 歳出予算〔目的別〕の内訳

- 民生費は、子ども手当等の減などにより、対前年度比較で4億円(0.4%)の減
- 土木費は、道路整備事業(補助)や公園事業の増などにより、同19億円(5.5%)の増(市全体の普通建設事業費で見ると、ほぼ前年度並みの281億円)
- 総務費は、南区役所や東区役所の整備費の増などにより、同16億円(8.9%)の増
- 農林・商工費は、新産業ゾーンの用地購入費の減などにより、同16億円(15.1%)の減
- 消防費は、消防救急無線デジタル化事業費の減などにより、同5億円(6.2%)の減

平成23年度当初予算



平成24年度当初予算



# 主要な施策①

## ■(仮称)岡山総合医療センターの整備を本格化します

平成27年度の開設を目指して54億円を予算化。保健・医療・福祉連携のシステムを構築！

## ■市内全部の小・中・幼・保の耐震診断を完了、同時に14校の耐震化も実施します

子どもや市民の命を守るため、市立小・中学校・幼稚園・保育園の耐震化事業をスピードアップ。

## ■心身障害者・ひとり親家庭の医療費自己負担限度額を半額にして制度化します

受給資格者の自己負担限度額を半額へ、低所得者の暫定半額は恒久制度へ。さらに障害者手帳3級所持者まで拡大。

## ■天然芝2面を備えた「岡東サッカー場(仮称)」整備に本格着手します

平成24年度の完成を目指して、Jリーグの練習にも耐える本格グラウンドを整備。ファジの活躍で「岡山市」を全国区へ！

## ■庭園都市おかやまをコミュニティサイクルが走り始めます

平坦で晴れの日が多い岡山市の特性をいかして、環境と人にやさしいコミュニティサイクル事業を開始。

## 主要な施策②

■初のメガソーラー発電所設置へ、太陽光発電システムも10施設へ設置します  
山上最終処分場跡地へメガソーラーの設置を検討。市有施設へも計画的に太陽光発電システムを設置。

■地域の安全を見守り、環境にやさしい防犯灯のLED化を加速します  
町内会設置の防犯灯のLED化に加え、市有防犯灯も2カ年で全てLED防犯灯へ切り替え。

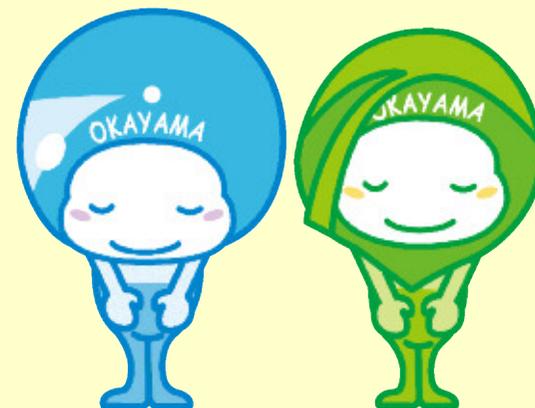
■平和の願いを込めて戦災資料の常設展示場所を整備します  
後世に戦争の悲惨さや平和の大切さを伝えていくため、デジタルミュージアム内に常設展示場所を整備。

■県下有数の湧出量を誇る「たけべ八幡温泉郷」を再整備します  
清流「旭川」の畔にある八幡温泉郷は県下有数の湧出量を誇るアルカリ性単純温泉。新たな温泉施設整備に着手。

■街の「顔(南区役所、東区役所)」と「安全(東消防署、(仮称)番町分署)」を整備します  
南区役所の最上階へは一時避難所も整備。引き続き計画的に防災拠点を整備。15億円を予算化。

## v 市債発行の方針

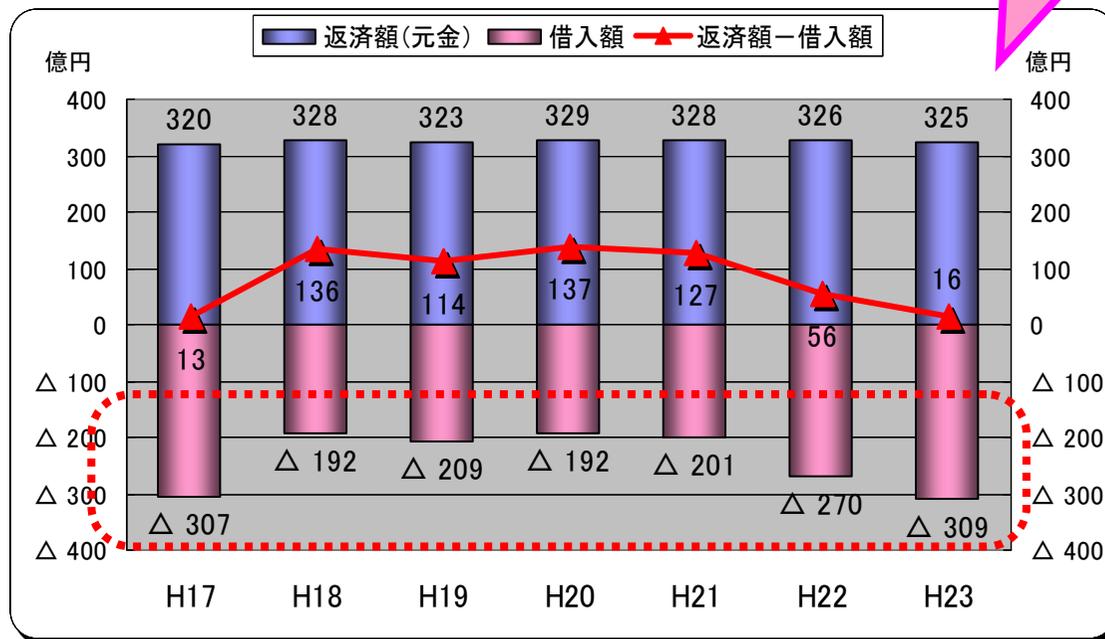
- 今後の起債運営
- 市場公募地方債の発行



# 今後の起債運営

- 平成18年度以降は市債の借入額を大幅に抑制
- 政令指定都市移行による事業規模の拡大後も、借入額を抑制予定

市債の借入額と返済額の推移(普通会計)



借入額<元金返済額  
市債残高は減少

## 借入額の抑制

- ◇元利償還金の全額が地方交付税に算入されるものを除いた借入額を200億円程度に抑制
- ◇実質公債費比率は、平成27年度決算で12%程度を目標に起債管理

## 減債基金の着実な積立

岡山市では、10年後の借入額の半分を借換することを前提として、借入翌年度より年5%ずつ基金を着実に積立っています。

# 市場公募地方債の発行

## ■ 平成22年度発行実績

- 起債銘柄  
平成22年度第1回岡山市市場公募地方債
- 発行時期 平成23年1月31日
- 発行総額 100億円
- 償還年限 10年(満期一括償還)
- 活用事業 臨時財政対策債等

## ■ 平成23年度発行実績

- 起債銘柄  
平成23年度第1回岡山市市場公募地方債
- 発行時期 平成24年1月31日
- 発行総額 100億円
- 償還年限 10年(満期一括償還)
- 活用事業 臨時財政対策債

## ■ 平成24年度発行予定

- 起債銘柄  
平成24年度第1回岡山市市場公募地方債
- 発行時期 平成25年1月
- 発行総額 100億円
- 償還年限 10年(満期一括償還)
- 活用事業 臨時財政対策債

次年度以降も、  
よろしくお願いします。



# 岡山市の未来へ向けて

- 安全で安心して暮らせるまちづくりをめざします
- 都市ビジョン実現のための財源は  
行財政改革の断行により確保します
- 10年先、20年先を見据えて、突発的な危機へも  
対応できる強固な財政基盤を構築します
- 中長期にわたる健全財政の維持のための  
計画的な財政運営をします

# お問い合わせ

## 岡山市 財政局 財政課

〒700-8544 岡山市北区大供1丁目1番1号

Tel 086-803-1146

Fax 086-803-1735

E-mail [zaiseika@city.okayama.jp](mailto:zaiseika@city.okayama.jp)

URL <http://www.city.okayama.jp/zaisei/zaisei/index.html>